

# 第2期草津市健幸都市基本計画策定に向けた検討内容等について



第2期草津市健幸都市基本計画の策定については、第1期計画の評価（成果・課題）や草津市健幸都市づくりワークショップの結果、統計データ等により、市民のニーズを把握するとともに、市の各関連計画や社会情勢の変化に伴う国等の状況を踏まえて、重点課題や目標・計画骨子等の検討を行います。

	第1期計画での方向性	主な成果	基本方針毎の目標	全体目標	第1期の主な成果を踏まえた分析・課題
まちの健幸づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりの推進</li> <li>公共交通ネットワークの再編</li> <li>公共交通の利用への促進</li> <li>バリアフリー基本構想の推進</li> <li>出かける機会や交流機会の増加</li> <li>健康拠点として草津川跡地公園や各地域の公園の活用</li> </ul>	<p><b>【計画通り実施できた事業・ほぼ計画通り実施できた事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草津市立地適正化計画等を策定し、歩いて暮らせるまちづくりを目指す市の方向性を定めることができた。</li> <li>重点整備地区内の歩道のバリアフリー化を進め、歩行者の安全確保に向けた取組を推進することができた。</li> <li>駅前や草津川跡地公園でのガーデニング活動を推進し、にぎわい・うるおいのあるまちづくりを進めることができた。</li> <li>市民総合交流センター（キラリエ草津）や草津川跡地公園をオープンし、イベント等を開催して交流機会を創出することができた。</li> </ul> <p><b>【実施できなかった事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちなかの回遊性向上のための、デジタルサイネージの設置。</li> <li>「景観ウォーキングマップ」を活用したまちあるきの実施。</li> </ul>	<p>&lt;市民意識調査における&gt; 公共交通の利便性に満足している市民の割合の増加</p> <p><b>現状 R3</b> 46.4%</p> <p><b>目標値 R4</b> 47%</p> <p>市内の文化・体育・交流施設の利用者数の増加</p> <p><b>現状 R2</b> 147.9万人</p> <p><b>目標値 R3</b> 176万人</p>	<p>&lt;市民意識調査における&gt;</p> <p>草津市が「健幸なまち」だと思う市民の割合の増加</p> <p><b>現状 R2</b> 30.4%</p> <p><b>目標値 R4</b> 60%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり等を進めたことにより、公共交通の利便性に満足している市民の割合は目標値に近づいていることから、引き続き、計画に基づきハード整備等を進めていく必要がある。</li> <li>一方、文化・体育・交流施設の利用者数が目標値に達していないことから、今後は、キラリエ草津等のハード整備を進めたことで、どのように市民に利用・活用してもらうようにするかを考えていく必要がある。</li> </ul>
くらしの健幸づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり協議会の健幸宣言の実現に向けた取組の推進</li> <li>誰もが住み慣れたまちで安心して暮らすことができるよう、支え合いのコミュニティづくりの更なる推進</li> <li>多様化・複雑化する福祉に関するニーズへの対応</li> <li>健康づくりのきっかけづくり</li> <li>働く世代の健康づくりの取組強化、子育てしやすい環境の整備</li> </ul>	<p><b>【計画通り実施できた事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり協議会と連携して、地域の特性に応じた健康づくりを進めることができた。</li> <li>「BIWA-TEKU」アプリによる健幸ポイントの実施等で健康づくりのきっかけを作ることができた。</li> <li>福祉の総合的な相談体制を強化し、多様化・複雑化する福祉ニーズに対応できた。</li> </ul> <p><b>【実施できなかった事業・廃止する事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動がより主体的に展開されるよう、地域活動等ポイントシステム制度の導入。</li> <li>運動遊びなど保育所・こども園などでの健康づくり。</li> </ul>	<p>健康寿命（平均自立期間）の延伸</p> <p>&lt;男性&gt;</p> <p><b>現状 R1</b> 81.69歳</p> <p><b>目標値 R2</b> 83.25歳</p> <p>&lt;女性&gt;</p> <p><b>現状 R1</b> 85.52歳</p> <p><b>目標値 R2</b> 84.55歳</p>	<p>草津市への観光入込客数の増加</p> <p><b>現状 R2</b> 213万人</p> <p><b>目標値 R4</b> 246.1万人</p> <p>健幸都市宣言賛同企業・団体数の増加</p> <p><b>現状 R2</b> 214か所</p> <p><b>目標値 R4</b> 200か所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の健康寿命については、既に目標値に達していることから、現状の取り組みに一定の効果が表れていると考えられる。</li> <li>一方、男性の健康寿命については、目標値に届いていないため、市民個人の健康づくりが進むような取組を推進していく必要がある。</li> </ul>
くらしの健幸づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスケア産業の育成支援</li> <li>健康づくりにも資するツーリズムの開発</li> <li>地元野菜を中心とした野菜摂取量の増加を促す取組の推進</li> <li>大学や企業・団体と連携した健康づくりの推進</li> <li>定期的・効果的な広報活動</li> </ul>	<p><b>【計画通り実施できた事業・ほぼ計画通り実施できた事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イベントやSNSにより、草津産野菜の販売や周知啓発を行い、地産地消につながる取組を実施することができた。</li> <li>事業所への健幸関連情報提供し、従業員の健幸づくりに貢献できた。</li> </ul> <p><b>【実施できなかった事業・廃止する事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光物産協会を運営主体としてヘルスツーリズムのツアーを実施したが、コロナの影響により中止となるツアーもあった。</li> <li>滋賀健康創生特区などの終了による産業振興施策との連携。</li> </ul>	<p>草津市への観光入込客数の増加</p> <p><b>現状 R2</b> 213万人</p> <p><b>目標値 R4</b> 246.1万人</p> <p>健幸都市宣言賛同企業・団体数の増加</p> <p><b>現状 R2</b> 214か所</p> <p><b>目標値 R4</b> 200か所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナの影響により観光入込客数については、目標値に達していないが、コロナと共存しながら地域産業と連携した健康産業の活性化を図っていく必要がある。</li> <li>健幸都市宣言賛同企業・団体数については、目標値に達していることから、今後は、大学や企業と連携して、それぞれがもつ健康づくりの強みを活かした取組を連携して進める必要がある。</li> </ul>	

## 草津市健幸都市づくりワークショップ実施内容

「①あなたが健幸だと思うこと」「②健幸が広がるために必要なこと」をテーマに、グループワーク形式で意見交換を行った。

また、第1期計画の全体目標である「草津市が『健幸なまち』だと思う市民の割合」がどうしたら増えるのかについても意見をいただいた。

## ワークショップからみえた今後の課題

「地域の行事」「仲間が集い活動できる機会」などの意見があり、「地域共生社会の実現」を目指した集いの場や機会をつくっていくことが必要である。一方で、コロナ禍で不安があるとの意見もあり、感染症対策をふまえた交流が必要である。

また、「健幸について知ってもらおう」や「健幸の思いを持つ」などの意見が挙がった。地域等で活動している方々だけでなく市民の皆さんにも、自分たちの活動や行動が健幸につながっているという認識を深めてもらうことで、「草津市が『健幸なまち』だと思う市民の割合」の増加につなげる必要がある。